

防災家族会議をやってみましょう いざという時に各人で適切な行動がとれるように

震度5強以上の首都圏直下型地震など大規模災害が身近で発生し、自宅からの避難を余儀なくされた場合でも、何処に逃げたらいいのか、また発災時に離れ離れの家族にどう連絡を取ったらいいのか、どのようにして離れた家族の安否確認ができるかを、家族の間で事前に話し合うことが、減災に向けた基本行動の一つです。やっておかないと大変になります。

今からでも遅くないので、同居されている家族と話し合う機会をもちましょう。その際は是非、柏市が市民全戸に配布しています「**災害時安心マップ**(下図)」を**有効活用**しましょう。



家族会議で話合うべきポイントは
裏面を参照願います

防災家族会議をやってみましょう

ポイントその1



自宅から最寄りの指定避難所が何処か、自宅からそこまでの経路を確認しましょう

区町会・自治会・管理組合の集会施設や事務所、一時避難の公園など各地区の災害対策本部設置予定の場所も防災マップ上に目印をつけておきましょう

ポイントその2

上水道が断水となった場合に飲料水が一人2ℓを上限に受けられる最寄りの応急給水所を確認しておきましょう。給水用のタンクを事前に各家庭で用意し、本番では車両を出来るだけ使わずに給水所に向かうようにしましょう(車両での臨場により渋滞で遅れ、給水が受けられない、あるいは駐車場でトラブルに巻き込まれる可能性があります)



ポイントその3 《安心マップの「災害時の安否確認方法」を参照》



災害発生直後は携帯電話やメールが使えないと思って行動しましょう。その際は、緊急連絡方法（NTT災害伝言ダイヤル171）の使い方を是非覚えておきましょう+お子さんには公衆電話の使い方も事前に教えてあげましょう

ポイントその4

《安心マップの「非常時持出品の準備」を参照》

家庭での非常時持出品につき協議し、必要な品物を未然に揃えておきましょう



ポイントその5 《安心マップに4人分のカードが掲載されています》

家族みんなで「携帯型防災カード(個人情報・もしもの連絡先を記載済のもの)」を携行していざという時に備えましょう

いざという時に各人で適切な行動がとれるように